

水俣学研究センター研究活動の記録

(2014年4月～2015年3月)

目次

- I. 水俣学研究センター刊行物
- II. 水俣学講義
- III. 公開講座
- IV. 公開セミナー、シンポジウム
- V. 研究会
- VI. 共催
- VII. データベース

I. 水俣学研究センター刊行物

1. 水俣学ブックレット（発行：熊本日日新聞社）
 - ⑫新版「ガイドブック 水俣を歩き、ミナマタに学ぶ」熊本学園大学水俣学研究センター編著
2014年11月11日発行
 - ⑬「いのちをつなぐ ～水俣、福島、東北～」花田昌宣、中地重晴編著 2015年3月30日発行
2. 研究紀要
 - 水俣学研究 第6号 水俣学研究編集委員会編集 2015年3月31日発行
3. 資料叢書
 - 資料叢書VI 「安賃闘争座談会 西野六郎氏を囲んで」花田昌宣編著 2015年3月発行

II. 水俣学講義

第13期 水俣学講義

日時 2014年9月25日～2015年1月22日

- 第1回 9月25日「水俣学への誘い」
花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター）
- 第2回 10月2日「胎児性水俣病患者の過去と現在」
田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター）
- 第3回 10月9日「認定制度の現状と矛盾－58年経てもなお続く行政的水俣病の問題」
井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター）
- 第4回 10月16日「水俣病の今日までの流れ」
上村好男（水俣病互助会会長）
- 第5回 10月23日「水銀条約の内容と日本の課題」
中地重晴（熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター）
- 第6回 11月6日「『水俣病』とともに語るときに私の語ること」—水俣学現地センターから—
下地明友（熊本学園大学社会福祉学部・医師）
- 第7回 11月13日「福島原発事故～避難にみる構造的な問題－水俣の歴史に学ぶ」
佐藤彰彦（福島大学うつくしまふくしま未来センター）

- 第8回 11月20日「熊本水俣病第一次訴訟」
坂東克彦（熊本水俣病第一次訴訟弁護団・新潟水俣病元弁護団長）
- 第9回 11月27日「私が出会った水俣病事件」
伊東紀美代（NPO 法人水俣病協働センター）
- 第10回 12月4日「『水俣』のテレビドキュメンタリー・アーカイブ」
小林直毅（法政大学社会学部教授）
- 第11回 12月11日「水俣病報道と全国紙の役割」
野上隆生（朝日新聞編集委員兼論説委員）
- 第12回 12月18日 Video 上映 「戦後史証言 水俣～戦後復興から公害へ～」
- 第13回 1月8日「水と commons：水源管理としての米国国立公園・国有林」
森下直紀（和光大学）
- 第14回 1月15日「『失敗の教訓』を将来に活かす～急速な工業化が進むタイでの取り組み～」
宮北隆志（熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター）
- 第15回 1月22日「世界の水俣病の現状と未来へのメッセージ」
花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター）

Ⅲ. 公開講座

- 第11期 公開講座「地域から学ぶ社会福祉の最前線」
日時 2014年9月30日～10月28日 毎週火曜
会場 水俣市公民館2階 第1研修室
後援 水俣市、水俣市社会福祉協議会
- 第1回 「相良村での医療・福祉について」
緒方俊一郎（緒方医院院長・社会福祉法人ベートル会理事長）
- 第2回 「『子どもを真ん中に』を疑うーこれからの保育と子ども家庭福祉」
宮里六郎（熊本学園大学社会福祉学部教授）
- 第3回 「障がい者への差別をなくすための条例と法律」
良永彌太郎（熊本学園大学社会福祉学部教授）
- 第4回 「生活困窮者自立支援と地域活動」
富田一幸（大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合理事長・
NPO 福祉のまちづくり実践機構代表理事）
- 第5回 「地域に暮らす高齢者の課題と取り組み」
小川全夫（前熊本学園大学社会福祉学部教授）

Ⅳ. 公開セミナー、シンポジウム

1. 第22回 公開セミナー
第5回 水俣病を伝えるセミナー
「どこに学び、なにを次世代に伝えるか」
～知ってるつもりの水俣現地をあるき患者さんの話を聞く～
日時 2014年8月7日
会場 熊本学園大学水俣学現地研究センターなど
主催 熊本学園大学水俣学研究センター

- 共催 水俣芦北公害研究サークル
 後援 水俣市教育委員会、芦北町教育委員会、津奈木町教育委員会
 講義Ⅰ 「胎児性水俣病患者の過去・現在」
 田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター）
 講義Ⅱ 「漁村の暮らしと水俣病」
 井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター）
 講演Ⅰ 「胎児性世代の裁判では何を求めて闘っているのか」
 佐藤英樹（第2世代訴訟原告団長）
 講演Ⅱ 「水俣市茂道での漁業と水俣病」
 佐藤 巽（水俣病患者）
 意見交換・自由討論 「知らないのは罪 知ったかぶりはもっと罪」

2. 「水俣学の10年－戦略的研究基盤形成支援事業成果報告」シンポジウム

- 日時 2014年12月14日
 会場 熊本学園大学14号館2階1421教室
 主催 熊本学園大学水俣学研究センター
 第一部 「水俣学に期待するもの」
 記念講演「水俣病と環境福祉」
 炭谷 茂（元環境事務次官・恩賜財団済生会理事長）
 「公害・環境研究と水俣学への期待」
 寺西俊一（一橋大学大学院経済学研究科教授・日本環境会議理事長）
 「水俣市の経験と水俣学への期待」
 吉井正澄（元水俣市長）
 第二部 「水俣学研究の成果報告－水俣学の10年」
 「水俣病問題の現在と課題－水俣学の役割と成果」
 花田昌宣（水俣学研究センター長）
 「水俣・芦北の地域戦略とその課題」
 宮北隆志（水俣学現地研究センター長）
 「情報発信と資料公開」
 山本尚友（水俣学研究センター研究員）
 外部評価委員からのコメントと質疑応答

V. 研究会

1. 第10回 水俣病事件研究交流集会
 日時 2015年1月10日～1月11日
 会場 新潟青陵大学5301教室

 1月10日
 自由報告
 「水俣市における川内原発再稼働と避難計画問題」
 大嶽弥生（原発避難計画を考える水俣の会）

「病の民俗誌－石牟礼道子『苦海浄土』批評から」

飯嶋秀治（九州大学大学院）

「水銀条約の批准に向けた日本の課題」

中地重晴（熊本学園大学水俣学研究センター）

当事者の力、周囲の力

「『水俣』を伝えることから地域活動へ」

田嶋いづみ（「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク）

「水俣病事件から学んだ社会福祉～未来につながる取り組み ほっとはうす16年の歩み～」

加藤タケ子（社会福祉法人さかえの杜 ほっとはうす）

「『支援者』は何を見聞きし、支えるのか－精神保健福祉からみた驚きの水俣」

三野宏治（東京福祉大学社会福祉学部）

「『事件』を解決できるのは『当事者・市民』の力」

高見 優（ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟）

「『水俣病全面解決をめざして』『2013.9.30提言と新潟の取り組み』」

中村周而（ノーモア新潟水俣病弁護団長）

1月11日

水俣病の被害実態と認定制度

「大規模健康被害としての水俣病について」

下田 守

「阿賀野川の汚染は、昭和35年～40年末までか」

関川智子（新潟勤医協）

「阿賀野患者会が取り組んでいる潜在被害者の掘り起こしによる診断を希望する新潟水俣病被害者の実態」

酢山省三（新潟水俣病阿賀野患者会）

「水俣病の認定棄却と水俣病患者の症状」

斎藤 恒、萩野直路（新潟医療生活協同組合木戸病院）

丸山公男（新潟青陵大学）

「水俣病認定患者（新潟）の毛髪水銀濃度と神経症状」

丸山公男（新潟青陵大学）

「芦北の漁村における毛髪・臍帯水銀値、健康障害、補償救済制度の連環」

井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター）

カナダ水俣病と水俣病訴訟の現在

「カナダ水俣病の現状と課題：2014年9月現地調査の報告」

花田昌宣（熊本学園大学水俣学研究センター）

「新潟水俣病第三次訴訟判決と新潟水俣病50年－問われるべきもの」

高島 章（新潟水俣病第三次訴訟弁護団長）

萩野直路（新潟医療生活協同組合木戸病院）

「水俣病第二世代訴訟の地裁判決の意味と今後」

山口紀洋（水俣病第二世代訴訟弁護団）

フィールドワーク「新潟水俣病現地調査」

- 1月11日 新潟西港倉庫（地震農薬説）～ 松浜橋西詰～ 松浜港（初期調査の対象地域）津島屋・一日市（初期の多発地域）
- 1月12日 旧昭和電工鹿瀬工場排水口～ 鹿瀬工場裏山～ 東北電力鹿瀬発電所鹿瀬工場有機部門跡地

2. 水俣・芦北地域戦略プラットフォーム課題検討会

第37回 課題検討会

日時 2014年9月29日

会場 水俣学現地研究センター

テーマ 『脱水銀社会』シリーズ②

水銀リサイクルの現状と課題

—イトムカ視察から水俣湾埋立地の今後を考える—

コーディネーター 中地重晴（熊本学園大学社会福祉学部教授）

話題提供 大嶽弥生（みなまた地域研究会）

永野隆文（みなまた地域研究会）

山下善寛（みなまた地域研究会）

第38回 課題検討会

日時 2014年10月27日

会場 水俣学現地研究センター

テーマ 『エネルギーを選ぶ』シリーズ②

川内原発の再稼働を問う—周辺自治体における避難計画の観点から—

コーディネーター 宮北隆志（熊本学園大学 水俣学現地研究センター長）

話題提供 永野 隆（原発避難計画を考える水俣の会）

大嶽弥生（原発避難計画を考える水俣の会）

3. ゼロ・ウェイスト円卓会議（茶のみ場作業部会）

4月21日 ゼロ・ウェイスト円卓会議、茶のみ場作業部会

5月12日 ゼロ・ウェイスト円卓会議、茶のみ場作業部会

5月12～13日 ゼロ・ウェイスト円卓会議作業部会、茶のみ場作業部会

5月26日 ゼロ・ウェイスト円卓会議

5月26～27日 ゼロ・ウェイスト円卓会議

6月9日 ゼロ・ウェイスト円卓会議、茶のみ場作業部会

6月9～10日 ゼロ・ウェイスト円卓会議作業部会

6月16～17日 ZWRT 環境モデル都市推進に関する意見交換

7月14日 ゼロ・ウェイスト円卓会議、茶のみ場作業部会

7月22～23日 ゼロ・ウェイスト円卓会議

8月25～26日 ゼロ・ウェイスト円卓会議作業部会

8月29日 ゼロ・ウェイスト円卓会議

11月18日 ゼロ・ウェイスト円卓会議

11月17～18日 ゼロ・ウェイスト円卓会議、茶のみ場作業部会

12月8～9日 ゼロ・ウェイスト円卓会議

- 1月13日 ゼロ・ウェイスト円卓会議、茶のみ場作業部会
- 1月26～27日 ゼロ・ウェイスト円卓会議
- 3月2日 茶のみ場作業部会
- 3月3日 ゼロ・ウェイスト円卓会議

4. 第26回 チッソ労働運動史研究会

日時 2014年7月28日

会場 熊本学園大学水俣学研究センター14号館3階第3会議室

5月に開催された第128回社会政策学会での報告を中心に

これまでの研究成果を1冊の本にまとめ出版することについての検討

5. 第3回 若手研究セミナー

日時 2014年9月5日～9月7日

会場 熊本学園大学水俣学現地研究センター

テーマ 「水俣病の現在と水俣学の試み」

9月5日

セミナー① 「水俣病被害の現実とそれへのアプローチ：水俣学研究の到達点と初発の意志」

花田昌宣（熊本学園大学水俣学研究センター長）

セミナー② 「環境破壊を経験した地域社会の再構築のための新たな統治と「水俣学」

宮北隆志（熊本学園大学水俣学現地研究センター長）

9月6日

フィールドワーク 「水俣病患者団体・個人等のインタビューから、水俣病半世紀の現在を理解する」

特別セミナー 「福島第一原発事故の教訓——脱原子力社会に向けて」

長谷川公一（東北大学教授・環境社会学会会長）

9月7日

セミナー③ 「水銀条約の今後の課題と水俣湾公害防止対策事業40年の検証」

中地重晴（熊本学園大学水俣学研究センター）

VI. 共催

第31回 天草環境会議「子どもたちにつなぐ天草の海山」

テーマ 「すすむ海の汚染」

日時 2014年7月12日～7月13日

会場 苓北町コミュニティーセンター

主催 天草環境会議実行委員会「はえん風」

共催 熊本学園大学水俣学研究センター

企画協力 一橋大学自然資源経済論プロジェクト

7月12日

第1部 進む海の汚染：運動的な視点から

1. 記念講演「川内原発の現状」
向原祥隆（反原発かごしまネット代表）
2. 「原発事故後の福島、今、何が起きているのか」
・汚染水問題と福島の現状 中地重晴（熊本学園大学）
・原発被害者の分断と福祉的課題 尾崎寛直（東京経済大学）
3. 「脱原発：私たちが求めるもの」
・再生可能エネルギーを利用した地域自立の可能性 山下英俊（一橋大学）
4. 現地検証「白木尾海岸から温排水の排出現場を見る」町民の会

7月13日

第2部 進む海の汚染：学術的な視点から

1. 記念講演「九州西海岸における海亀調査から見える海の汚染」
吉崎和美（天草の自然を護る会）
2. 「不知火海の現状」山下善寛（みなまた地域研究会）
・不知火海はきれいになったのか
・進まぬ被害者救済と根本的な解決
3. 山下英俊（一橋大学）

第3部 まとめ

VII. データベース

浜元二徳旧蔵資料

2015年1月19日 HPのデータベース上に資料目録を公開 文献資料133点、物品資料20点

水俣学アーカイブス

2014年12月8日 水俣学アーカイブ公開

水俣学研究・資料文献データベースおよび映像資料を通して、水俣学の取り組みの一端を理解（経験）していただくために、記録・記憶の集積を視覚的に公開した

コンテンツ：「証言」患者証言 不知火海から／共に闘う（支援者・研究者）

「歴史」水俣今昔／時空でたどる新日窒労組／水俣略年表

「自然」海辺の物語

「教育」伝える 子どもたちへ／現場をさるく／学校の現場から

「記録」新日窒労組8mmグループ

「未来」失敗の教訓を活かす